

名古屋市役所

屋上みつはちプロジェクト

都会で育つ、未来を守る

名古屋市は、ネイチャーポジティブの実現に向けて、養蜂を通して、ミツバチによる生きもの同士のつながりや自然の恵みを、見て・味わって・学ぶことで、生物多様性を身近に感じていただくため、名古屋市養蜂組合と協力し、市役所屋上で養蜂を行っています。



1 ミツバチの大切な役目

ミツバチは花から花へ花粉を運び、野菜や果物を実らせます。わたしたちの食べものの約3分の1はミツバチなどの花粉を運ぶ生きものが支えています。

ミツバチは、まちの大切な仕事人



2 なぜ都市で養蜂？

ビルの屋上や公園など、都市の空きスペースでミツバチを育てる活動が増えてきています。

都会には、

- 1年中花や緑が多い
- 農薬の影響が少ない
- 天敵が少ない

ミツバチがいなくなると

- 花が実をつけなくなる
- 野菜や果物が減る
- 虫や鳥も減る

自然のバランスがくずれてしまいます。

3 ミツバチや生物多様性のためにできること

- 1 花を植える
- 2 農薬を減らす
- 3 地元のはちみつを味わう
- 4 自然に目を向ける

名古屋市役所産の

はちみつを味わう



ミツバチが暮らせる町は、人にもやさしいまち。